

にじいろ

平成29年6月

医療法人社団 八洲会
はいなん吉田病院

榛原郡吉田町神戸 2571-6
TEL 0548(32)9111(代)
FAX 0548(32)9120

診療時間

平日 午前9:00～午後5:00

看護部長 枝村 明美

《中学生職業体験 介護の仕事を体験》

平成十六年六月に開設し、平成二十三年五月には、リハビリ棟の増築を行ない、十三年が経過致しました。平成二六年一〇月に院長に就任以来、地域の皆様の信頼に応えるべく、医療・介護の実践に励んでまいりました。

はいなん吉田病院では、

ご本人・ご家族が糖尿病・血糖値が安定しない。高熱が出て食事が摂れない。集中してリハビリを受けたい。終末期の方。

急性期病院で治療終了後、状態は改善したが、もう少し入院療養が必要。症状が安定し在宅復帰に向けリハビリが必要。在宅療養の準備が必要。在宅復帰の可否が現段階では未定。

介護者の腰痛がひどく自宅で介護するのが大変。介護疲れで調子が悪くなってしまった。等々の患者様を受入れております。

今後とも、地域医療に貢献すべく。ご本人並びにご家族の皆様の要望に応える形での対応を全職員一丸となつて努めてまいりたいと考えております。

これからも、はいなん吉田病院を宜しくお願ひ致します。



当院に来てくれました。今年は、通所リハビリテーションで三日間介護の仕事を体験してもらいました。最初は利用者の方とお話しするのもぎこちないところもありましたが、最終日には笑顔も見られ、ときぱきと動く姿が輝いて見えました。利用者の方も中学生が来るととても喜んでください、笑みがこぼれます。

ありました。今、社会では二〇二五年問題が直近の課題になっています。高齢者をどう支え、地域で最後まで暮らせるようにするにはどうしていいたらいいか、国民一人一人が考えていかなければなりません。医療・看護・介護は生活する上で重要な分野となります。これからは社会を担っていく若者たちが、この分野に少しでも関心を持つて、将来、専門職業人として地域で貢献してくれることを希望すると共に、私達も人材育成に力になれるよう関わっていきたいと思います。

《かかりつけ薬局》

薬剤部 土村典子

皆さんはかかりつけ薬局(薬剤師)を持つていますか?

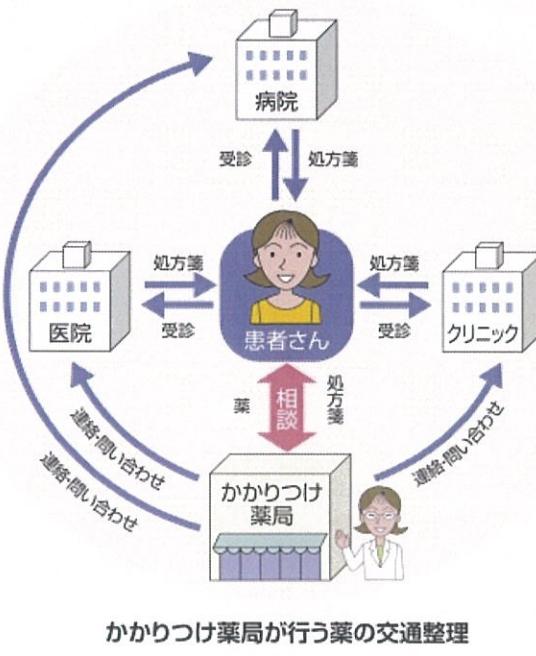


若い世代が高齢者と関わることの良さ、大切さをあらためて感じることの良いです。

当院でも、特に在宅からの入院患者様は薬をたくさん持つてくることがあります。そんな時、今までどうやって薬を飲んでいたのか疑問に思います。飲んだり飲まなかつたりすると効果が出にくく、新たに薬が追加されてしまうことがあります。なかつたりすると効

ん。薬の効果を最大限引き出すためには主治医の指示どおりに服用することが大切です。

しかしながら、飲み方が複雑でわかりにくかったり、複数の医療機関から薬をもらっていたりする場合もあります。そこで、顔なじみの薬剤師がいる「かかりつけ薬局」を持たれることをお勧めします。薬局の7割以上が、在宅医療にかかわるための届出をしており、薬の管理や日常生活に応じた剤型、用法の工夫、主治医への連絡・連携などに携わっていて相談にのってくれます。



薬をきちんと服用することで病気が改善し薬の数が少なくなれば患者様の身体的、経済的負担が少なくなると思います。当院でも患者様に最善の薬物治療になるように努めていきたいと 思います。

医療相談員 弓田 沙知

私が、はいなん吉田病院に勤めて、5年3ヶ月が経とうとしています。5年間は、通所リハビリの介護職員として現場で勤務をしていました。そして今年4月より、医療相談員として勤務をしています。今までの仕事とは違い、戸惑うこともあります。分からぬことばかりですが、周りの先輩方にご指導頂き、毎日勉強をしながら仕事をしています。



入院相談業務に就くにあたり、今まで以上に患者様のご家族と接する事が多くなりました。患者様とご家族が何を必要としているのか、それに対してどんな提案、支援が提供できるのかを考え、問題を解決していきます。相談の中で、ご家族の思いがしつかり読み取れていないと、希望に沿う提案が出来ません。ご家族の気持ちの中に不安や疑問があると、私が伝えたい事もうまく伝わりません。まだまだ知識不足のため、すぐに最適な提案ができなかつたり、私の立場では判断できないこともあります。後で振り返り、この提案で良かったのか、ご家族の不安や疑問は解決されたのか、と考えることもあります。私の

不手際で、周りのスタッフに迷惑を掛けてしまふこともあります。毎日が不安と緊張の連続ですが、どんな事にも真剣に向き合ひ、ご家族からも、周りの職員からも信頼されるよう頑張っていきたいと思っています。

職員募集

◎ 正・准看護師
◎ 介護職員

詳しいお問い合わせは 0548(32)9111 事務長まで

<http://hainan-yoshida.jp/>

編集後記
新しいメンバーによる第1号が発行されました。これからも楽しい紙面づくりをしていきたいと思います。
『我こそは』という方の投稿をお待ちしております。